

大学院学生各位
To All Graduate Students

2023年度 基盤医学特論 開講通知 Information on Special Lecture Tokuron & Tokupro AY2023

特徴あるプログラム CIBoG/AI-MAILs オミクス解析学プログラム CIBoG/AI-MAILs Omics Analysis

題目：毛包の発生と幹細胞形成を支えるテレスコープモデル

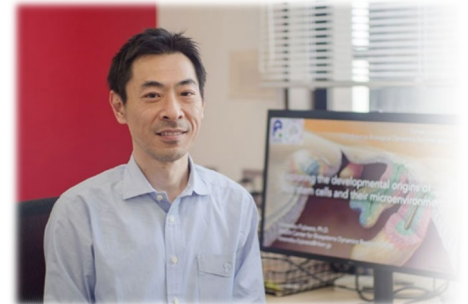
Title: Coordinated hair follicle morphogenesis and stem cell formation: The Telescope Model

講師：藤原 裕展 先生

理化学研究所 生命機能科学研究センター

細胞外環境研究チーム チームリーダー

Teaching Staff: Laboratory for Tissue Microenvironment,
RIKEN Center for Biosystems Dynamics Research



日時：2023年10月3日（火）17:00～18:30（第2講義室）

Time and Date: 3rd October, Tue 2023 17:00-18:30 (Lecture Room No. 2)

使用言語：日本語 Language: Japanese

概説：

組織幹細胞は、胚性前駆細胞から組織特異的な形態形成過程を経て生み出されるが、その発生起源や形成機構は多くの組織で不明である。我々は、マウス毛包発生の4次元イメージングと1細胞トランスクリプトミクスを組み合わせることで、毛包構成細胞の動態、細胞系譜、遺伝子発現変化を網羅した毛包発生の「4次元アトラス」を作成した。そこから、毛包発生と幹細胞の形成を支える新しい多細胞動態「テレスコープ動態」を見出し、その作動原理として「テレスコープモデル」を提唱した。本講演では、上記の知見に加え、テレスコープモデルが様々な体表器官に共通する器官発生/幹細胞誘導原理となる可能性や、非細胞成分である細胞外マトリックスが器官形成を駆動するしくみについても議論したい。

関係講座: 分子腫瘍学・鈴木洋, システム生物学・島村 徹平
部門等の連絡担当者: システム生物学 西尾、山田 (内線 1980)
Contact: Division of Systems Biology Nishio, Yamada (ext.1980)

※事前のお申し込みは不要です。
No Registration required.

※講義中の録画・録音は禁止します。
Recording this lecture is not allowed.